

若手研究発表賞 審査対象

演 題

プロスポーツチームとまちづくりに関する研究

演者氏名
(所属)

—千葉ジェッツに着目して—

○東京太郎¹⁾ 生涯次郎¹⁾ 江東花子²⁾ 有明愛子²⁾

1) 順天堂大学大学院 2) 江東区健康スポーツ公社

キーワード
本文

プロスポーツチーム, ソーシャル・キャピタル, 千葉ジェッツ

1. 緒言

近年, 地域コミュニティの希薄化や崩壊が頻繁に叫ばれ, 大きな社会問題とされている。まちづくりに代表される地域コミュニティの再生は急務であり, 様々な取り組みが行われている。特に, 地域の住民間や集団間のつながりを促進・活性化する要素としてソーシャルキャピタル (Putnam, 1993 ; 2000) が注目されている。また, ソーシャルキャピタルの醸成や蓄積は, コミュニティの評価を高めるとされ (上野, 2006) , J クラブや地域スポーツクラブなどスポーツをテーマとした選択縁的な活動もその一翼を担うことが期待されている。

45文字 × (40行+50行)

1 ページ目 本文 1800文字 (45文字×40行)

発表抄録につきましては, 本サンプルをご参照いただき, 本文を **45文字×50行** に設定のうえ,

- タイトル: MS ゴシック 12pt・太字 (サブタイトルは, 10.5pt)
- 演者氏名: MS 明朝 10.5pt
- 所属: MS 明朝 8pt (大学院生につきましては, 「〇〇大学大学院生」と表記して下さい)
- キーワード: MS 明朝 10.5pt (3~5ワード)
- 本文: MS 明朝 10.5pt

注] 上下左右の余白は変更しないで下さい。

上記の書式で, 「Word」にて作成して下さい。

なお, 原稿を作成する際には, サンプルの本文と, この案内表示を削除して下さい。

(※ Mac をご使用の方は, Windows 版で文字化け等がないかご確認の上, 提出して下さい。)

2. 研究目的

そこで本研究は, bj リーグ千葉ジェッツがホームアリーナとしている近辺に在住する地域住民に着目し, 住民のソーシャルキャピタルの視点から, プロスポーツチームとまちづくりの関係を明らかにすることを目的とした。

3. 研究方法

千葉ジェッツホームゲームの観戦者に対して質問紙調査を実施した。調査は bj リーグ 2012-2013 シーズン開幕戦 (ホーム) の 2012 年 10 月 13 日に行った。開場時に入口にて調査員が質問紙を配布し, 試合終了後に出口にて回収を呼び掛けた (有効回答率 42.5%)。質問項目は基本的属性, bj リーグ観戦について, ソーシャルキャピタルとした。ソーシャルキャピタルに関する項目は, 舟木・野川 (2012) らを参考に設定した。

4. 結果および考察

千葉ジェッツの設立により、地域住民の一部に新しい繋がりやより深い繋がり生まれた一方で、チームと地域において互いに対する期待に相違があることが明らかとなった。また、ソーシャルキャピタル高群は、低群に比べ地域に誕生した新しい団体を積極的に受け入れている傾向がある。

2 ページ目 本文 2250 文字 (45 文字×50 行)

表1. ソーシャルキャピタル度別の観戦について(近隣住民)

項目	SC低群		SC高群		合計	
	%	(n)	%	(n)	%	(n)
千葉ジェッツの認知						
知っている	47.9	(56)	52.1	(61)	100.0	(117)
知らない	50.0	(20)	50.0	(20)	100.0	(40)
合計	48.4	(76)	51.6	(81)	100.0	(157)
千葉ジェッツ試合観戦経験の有無						
観戦経験あり	40.0	(4)	60.0	(6)	100.0	(10)
観戦経験なし	48.2	(53)	51.8	(57)	100.0	(110)
合計	47.5	(57)	52.5	(63)	100.0	(120)

5. 結論

プロスポーツチームが地域密着を通じたまちづくりを実現するためには、「おらがチーム」として住民に受け入れられる必要がある。そのためには、ホームゲームや地域貢献活動の場を、ソーシャルキャピタルが高い傾向にある地域住民と、そうでない地域住民の交流の場として活用することなどが求められる。

6. 主な参考文献

舟木泰世・野川春夫 (2012) : 地域コミュニティの再生がスポーツに果たす役割—総合型地域スポーツクラブに着目して—, 文理シナジー, 16(1), pp. 7-13.